

(学校用)

様式 A-1

平成 26 年 7 月 22 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 札幌日本大学高等学校 林 慎
2. 講師氏名: 北海道大学低温科学研究所 FRASER,A.D.博士
3. 同行者氏名: 北海道大学低温科学研究所 松村 義正 先生
4. 実施日時: 平成 26 年 7 月 22 日 (火) 13 : 25 ~ 15 : 15
5. 参加生徒: 3 年生 30 人、 年 生 人、 年 生 人 (合計 30 人)
備考: (例:理数科の生徒) 普通科 特進コース SSHクラス生徒
6. 講演題目: (英文)The role of Antarctic sea ice in the global climate system
(和文)地球の気象システムにおける南極氷の役割
7. 講演概要:
先生の出身地の紹介と南極で氷が出来たときの海水循環などについての説明
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1)講演時間 90 分 質疑応答時間 20 分
 - (2)講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクターを使用した講義と色水を用いた海水循環モデルの実験・南極氷の
 - (3)通訳 (例:同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
日本人研究者が同行し、簡単な通訳を行っていただきました
 - (4)事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
特になし
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
特になし
11. その他特筆すべき事項: 特になし